価値創造の全体像

リケンテクノスのあゆみ

リケンテクノスという社名は、RIKEN TECHNOLOGY SUPPLIERから来る造語です。
理研ビニル工業として創業して以来培ってきた“テクノロジー（技術）”をさらに高め、未来に向かって新たに挑戦する思いが込められています。

1950～

創業・黎明期／企業基盤確立期

当社の前身である「理研ビニル工業株式会社」は、1949年に東京工業大学において、塩化ビニル（塩ビ）配合技術の基礎研究に着手し、工業化の調査を開始したことから始まりました。1951年に創業し、塩ビ樹脂加工を中心に、わずかな資金で「人と技術」のみを頼りとするいわばベンチャー企業として出発しました。

1970～

国内事業基盤確立期

当社は創立以来、首都圏を中心に事業を展開してきましたが、関西中京圏の顧客が増大したことを受け、1973年に大阪営業所を開設、さらに三重工場の操業を開始し、関東・関西における生産販売体制を確立しました。また、お取引先様からの信頼向上、安定した資金調達を目指し、1974年、東京・名古屋両証券取引所の第一部に上場しました。

1990～

本格的な世界市場進出期

日系企業が海外に進出し始めたものの、現地で品質の良い材料を調達するのに苦慮していました。そのようなお客様からのお誘いをきっかけに、本格的な海外コンパウンド生産拠点として、1989年にRIKEN（THAILAND）CO.,LTD.を設立しました。これを皮切りに、米国・インドネシア・中国・欧州と生産・販売拠点を拡大しました。2001年、「リケンテクノス株式会社」へと社名を変更しました。

2015～

グローバル経営の深化

生産・販売拠点の海外進出により、国内・海外拠点ともにグローバル経営を意識した組織体制を構築してきました。生産体制の最適化および供給網の充実化を図り、グローバルで均一な「リケンテクノス品質」を提供しています。2022年からは、東京証券取引所「プライム市場」に上場しています。当社はこれからも挑戦し続ける「チャレンジメーカー」として歩んでいきます。

創業時

理化学研究所の
正面入口の門標

三重工場

1951
理研ビニル工業（株）
設立

塩ビコンパウンド
製造開始

1956
カレンダーフィルム
製造開始

1961
東京証券取引所
第二部上場

1966
日本初の塩ビ食品
包装用ラップを開発

1968
岡部工場操業開始
（現 埼玉工場）
押出フィルム設備移設

1973
大阪営業所開設
（現 大阪支店）
三重工場操業開始

1974
東京・名古屋証券
取引所第一部上場

1979
名古屋営業所開設

1984
ポリマー研究所設立
加工技術研究所設立
（現 研究開発センター）

1989
RIKEN (THAILAND)
CO., LTD.（タイ）を
設立

1990
RIMTEC CORPORATION
（米国）を設立

1994
熱可塑性エラストマーの
販売開始

1995
PT. RIKEN INDONESIA
（インドネシア）を設立

RIKEN U.S.A.
CORPORATION
（米国）を設立

2001
理研ビニル工業（株）から
リケンテクノス（株）へ
社名変更

上海理研塑料有限公司
（中国）を設立

2003
理研食品包装（江蘇）
有限公司（中国）を設立

2006
RIKEN ELASTOMERS
CORPORATION（米国）
を設立

2011
RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.
（タイ）を設立

2013
RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL
KOREA CORPORATION（韓国）を設立

2014
RIKEN VIETNAM CO., LTD.（ベトナム）を設立

2017
RIKEN AMERICAS CORPORATION（米国）を設立

2019
RIKEN TECHNOS INDIA PVT. LTD.（インド）を設立

2022
東京証券取引所プライム市場上場

※ 1998年度まではリケンテクノス単体の売上高、1999年度からはリケンテクノスグループ連結の売上高の推移となります。